

春期特別展「紀伊徳川家 やきもの新時代—富国と栄華の19世紀—」

平成30年(2018)4月21日(土)～6月3日(日)

出陳資料一覧

	名 称	作者等	員数	時代	所蔵
第1章 御庭焼と藩主のサロン					
1	偕楽園焼 白楽振出茶入		1口	文政2年(1819)	個人
2	偕楽園焼 白楽四方香合	大村弥兵衛	1合	文政2年(1819)	個人
3	赤楽茶碗	楽旦入	1口	文政9年(1826)	和歌山県立博物館
4	偕楽園焼 赤楽梅花形香合	八詠	1合	文政10年(1827)	滴翠美術館
5	偕楽園焼 黒楽古形洲浜形香合	森玄蕃	1合	文政10年(1827)	和歌山県立博物館
6	偕楽園焼 黒楽玉香合		1合	文政10年(1827)作 文政11年(1828)拝領	和歌山県立博物館
7	清寧軒焼 黒楽輪蓋置		1点	天保5年(1834)	和歌山県立博物館
8	偕楽園焼 赤楽灰器	久楽弥介	1口	天保7年(1836)	和歌山県立博物館
9	清寧軒焼 赤楽茶碗 銘「眉寿」	楽旦入	1口	天保12年(1841)	個人
10	清寧軒焼 赤楽茶碗 銘「福祿寿」		1口	天保15年 (弘化元年、1834)	和歌山県立博物館
第2章 陶工の招聘と陶磁器生産の黎明					
11	瑞芝焼 籠目水指		1口	江戸時代(19世紀)	個人
12	瑞芝焼 織部写梅図瓢形鉢		1口	文化11年(1814)	滴翠美術館
13	偕楽園焼 色絵龍鳳文瓢形振出	仁阿弥道八	1口	文政10年(1827)	個人
14	偕楽園焼 交趾写鴨香合	仁阿弥道八	1合	文政10年(1827)	滴翠美術館
15	偕楽園焼 染付葵文山水図湯呑	仁阿弥道八	1口	文政10年(1827)	滴翠美術館
16	染付松霊芝図筒形火入	野呂介石絵付	1口	文政10年(1827)	和歌山県立博物館
17	交趾釉月梅図皿	永楽保全作 野呂介石絵付	1口	文政10年(1827)	滴翠美術館
参考1	交趾釉月梅図皿	永楽保全作 野呂介石絵付	1対	文政11年(1828)	和歌山県立博物館
18	置上菊香合	永楽保全	1合	文政11年(1828)	和歌山県立博物館
19	南紀男山焼 染付葵文散火鉢		1口	文政12年(1829)	長保寺
参考2	南紀男山焼 染付梅竹図筒形水指	野際白雪絵付	1口	文政12年(1829)	和歌山県立博物館
20	南紀男山焼 染付菊文御神酒徳利		1対	天保2年(1831)	個人
21	偕楽園焼 鉄釉水指		1口	天保2年(1831)	滴翠美術館
22	唐美人図	田村高山筆	1幅	江戸時代(19世紀)	和歌山市立博物館
23	南紀高松焼 色絵牡丹図土瓶		1口	天保年間(1830～44)頃	和歌山県立博物館
第3章 三大窯の隆盛 —偕楽園・瑞芝・南紀男山—					
24	偕楽園焼 交趾写獅子置物		1基	天保3年(1832)以前	個人
25	南紀男山焼 染付竹鶏図筒形花生		1口	天保4年(1833)拝領	個人
26	南紀男山焼 偕楽園画製 色絵花蝶文花生		1口	天保6年(1835)拝領	和歌山市立博物館
27	書「瑞雲」	徳川治宝筆	1幅	天保3～8年 (1832～37)	和歌山県立博物館

	名 称	作者等	員数	時代	所蔵
28	南紀高松焼 染付高松茶屋根上松図筒形花生		1口	天保年間(1830~44)頃	和歌山県立博物館
29	下絵帖	光川亭仙馬筆	5冊	江戸時代~明治時代 (19世紀)	和歌山県立博物館
参考3	瑞芝焼 青磁東方朔文桃耳花生		1口	天保9年(1838)拝領	和歌山県立博物館
30	瑞芝焼 青磁鯉耳花生		1口	天保11年(1840)拝領	個人
31	瑞芝焼 青磁登龍門文遊環花生 付 葵文柱		1口	天保年間(1830~44)頃	個人
32	瑞芝焼 青磁薔薇浮彫蝶耳花生		1口	天保年間(1830~44)頃	個人
33	瑞芝焼 阿蘭陀写藍絵唐草文壺 付 新村出・南方熊楠書簡		1口	江戸時代(19世紀)	個人
34	偕楽園焼 交趾写二彩寿字文花生		1口	江戸時代(19世紀)	個人
35	南紀男山焼 交趾写二彩花生		1口	嘉永元年(1848)	和歌山県立博物館
36	轆轤図	光川亭仙馬筆	1幅	嘉永元年(1848)	和歌山市立博物館
37	南紀男山焼 染付鶴形蓋物		1合	江戸時代(19世紀)	個人
38	青花鶴香合		1合	中国・道光年間 (1821~50)	個人
39	偕楽園焼 金彩寿字文盃		6口	嘉永2年(1849)拝領	和歌山県立博物館
参考4	南紀男山焼 染付不老橋図鉢	光川亭仙馬	1口	嘉永4~6年(1851~53)	和歌山県立博物館
第4章 江戸時代の終焉と新時代の幕開け					
40	三楽園焼 更紗手兜鉢		1口	安政年間(1854~60)頃	和歌山県立博物館
41	大福山焼 交趾写二彩流釉筒形花生		1口	安政年間(1854~60)頃	個人
42	養翠亭焼 染付松図花生		1口	安政年間(1854~60)	和歌山県立博物館
43	南紀男山焼 陶范	光川亭仙馬	1点	安政5年(1858)	個人
44	南紀男山焼 陶范	光川亭仙馬	1点	安政6年(1859)	個人
45	南紀男山焼 染付陶器場図筒形花生	崎山利兵衛	1口	慶応4年 (明治元年、1868)	和歌山県立博物館
46	紀伊国名所図会 後編 巻四	高市志友他編	1冊	嘉永4年(1851)刊	和歌山県立博物館
47	南紀小山焼 染付帆船図筒形花生		1口	明治3~5年(1870~72)	海山郷土資料館
48	南紀小山焼 染付蜘蛛の巣文茶托		2枚	明治3~5年(1870~72)	海山郷土資料館
49	和歌山焼 染付祥瑞写絵替煎茶碗	宮田亀寿	5口	明治2~3年(1869~70)	個人
50	鈴丸陶器所図	鈴木雲溪	1幅	昭和17年(1942)	和歌山市立博物館
51	和歌山焼 染付四君子図菓子鉢		1口	明治2~3年(1869~70)	個人
52	染付獅子図香炉	光川亭仙馬	1口	明治4年(1871)	和歌山県立博物館
53	太田焼 鉄釉沓形鉢		1口	明治3~13年 (1870~80)頃	和歌山県立博物館

※No.47、48の南紀小山焼は三重県・紀北町指定文化財です。

※参考1~4は、常設展示にて公開します。

※展示内容は予告なく変更することがあります。